

給食時の感染防止策について

狭山市立柏原小学校

- 【配膳準備】
1. 学級全体で、石鹸を使った手洗いの意識を徹底する。
※工夫
① 4時間目終了後配膳前に、担任による声かけのルーティン化
② 4時間目終了後の日直あいさつに一言追加「全員石鹸を使って手洗いをしてから、給食の準備をしましょう」等
 2. 担任は、配膳直前の給食当番等の体調を確認する。
※工夫
① 担任による声かけのルーティン化
② 4時間目終了後の日直あいさつに一言追加「給食当番、みなさん、体調は大丈夫ですか。気になる人は先生に相談しましょう」等
 3. 全員が、石鹸で手洗いをし、マスクをしている。洗い場が密にならないようにするため、並び方や、あらかじめ教室や廊下等で石鹸をつけて、洗い場では流すだけにする等の工夫をする。
 4. 担任は、給食当番の手を、シアックスプレーで消毒をする。担任がいない場合、給食当番がシアックスプレーを使って消毒する。
 5. 担任は、水拭された配膳台を、シアックスプレーで消毒し、必要であれば、紙ナプキン（おう吐処理用）で乾拭きする。
- 【配膳】
6. 配膳する人は、前や後ろの人と距離をあけて、静かに並ぶ。誰が配膳するかについては、学年で統一する。
- 【食事中】
7. 会話は控えながら、同じ方向をむいて食べる。担任も対面にならないように工夫をする。
 8. 食べ終わった児童は、マスクをつける。
- 【おかわり】
9. マスクをしておかわりはとりにいく。
 10. 一度お皿に盛ったものは絶対に戻さない。
- 【下膳】
11. 各自が下膳を行う。班で食器を分けない。
- 【牛乳パック】
12. 当面の間、パックは廃棄処理とする。専用ビニール袋に、飲み終わったパックを各自で入れる。ビニール袋は閉めて、カートに乗せて配膳室に戻す。ビニール袋は配膳員が各配膳室の一か所に集め、その日のうちに給食主任（教務部）が石油庫（保健室前）に移動する。
① パックの処理の仕方は、学年の実態に応じて行う（開く・たたむ等）。パックの中に、牛乳は残さず、きれいにビニール袋に入れる等、廃棄であっても後工程の人へ配慮する。
 13. 通常通り実施。（通常＝手洗い後にコップに水を入れる→自分の席で歯磨きうがい→コップの水を捨てに行き、洗い場でのうがいは原則なし）
- 【歯磨き】

アレルギー対応

食後、2年生のアレルギー対応の必要な児童は、時差で洗い場を使う。終了後、その他の2、3年児童が洗い場を使う。